

成果報告書

國枝孝弘研究会 1 は、フランス語の教材開発、学習環境設計を研究している。今回はその研究成果を外部に問うために、2010年3月27日に Rencontre 関西(関西フランス語教育研究会 大阪市北区天神橋 2-2-11 大阪日仏アリアンス・フランセーズ内) で発表を行った。

Rencontre 関西は今年で24回目を迎えるフランス語教員があつまる研究会である。本来は、教員がアトリエを担当するのだが、この会に研究会として参加し、学生自身が現在開発をすすめている様々なフランス語教材について発表を行った。このように本来教える側が主催する学会に、学ぶ側の学生が参加して発表をすることは画期的で、意義の高いものであると考える。

学会では学部生7名、大学院生2名がそれぞれ持ち時間5分少々の発表を行った。会場には現役のフランス語教員、教科書会社の編集者などが参加し、学生と活発な質疑応答を行った。まず学生が学生のために学習教材を作成するという発想は、他の教員にとっては新鮮なものであり、「学ぶ方を学ぶ」ひとつの具体例を示すことができたと考える。また学生にとっても、実際に教材を使う側の教師、教科書を作っている編集者というプロフェッショナルからコメントをもらうことは今後の研究の発展にむけて大変有意義であったと考える。さらには、今回の教材は、ビデオを実際に自分で撮影、編集し、教材にしたもの、ソフトを一から開発したものなど、独自に開発したものが多く、それ以外にもブログの教材利用など、メディアと外国語学習の親和性を研究したものなど、これからの学習環境を考える示唆に満ちたものであった。

以上、今回の学会発表はフランス語学習における SFC の先進性を十分伝えるものであったと同時に、それが学生によって担われていることに価値があったと考える。それがまた学生自身をも啓発する機会となった。

総合政策学部准教授 國枝孝弘